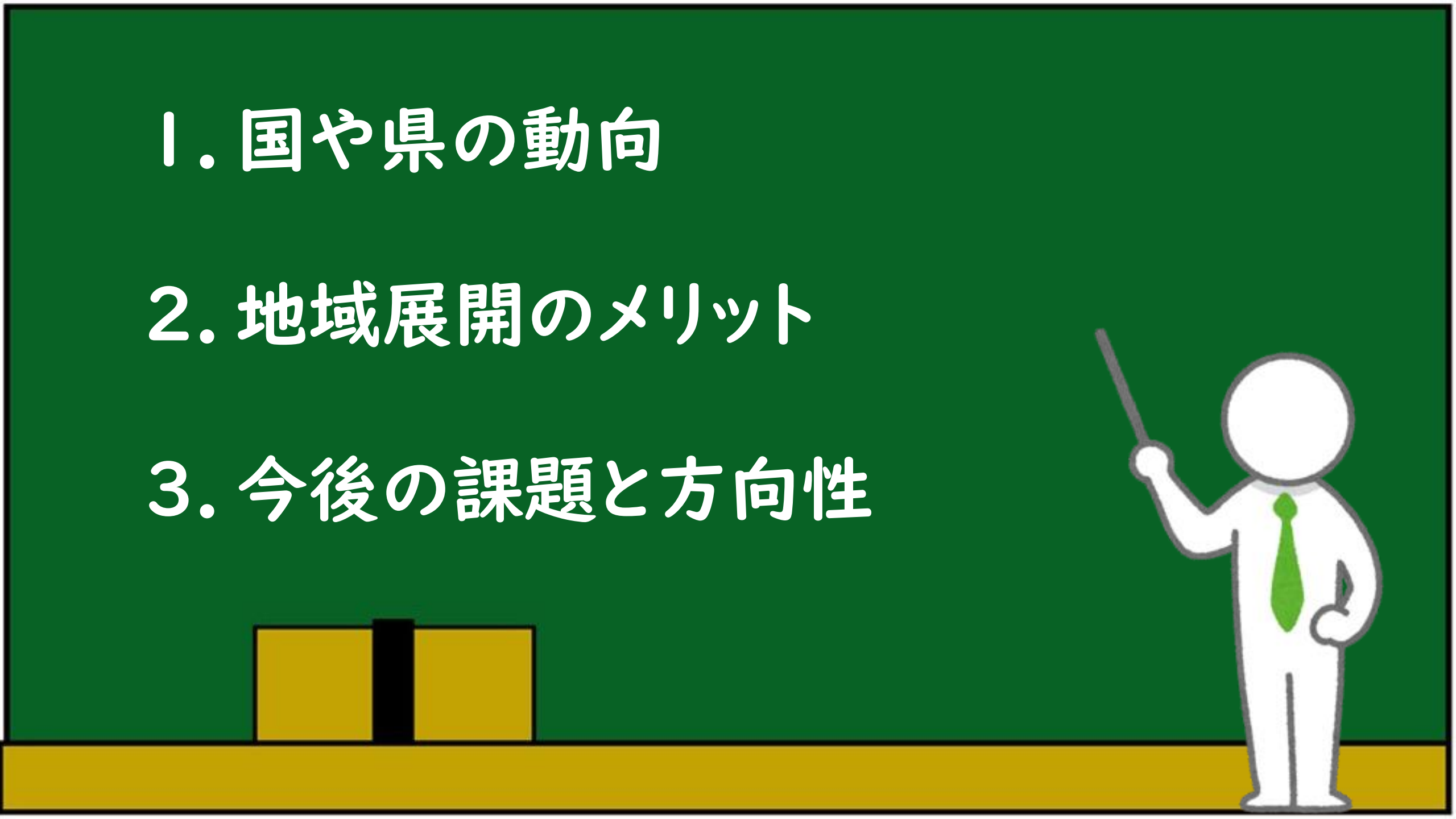
部活動地域展開の背景と概要

どうして部活動の地域展開なのか・・・

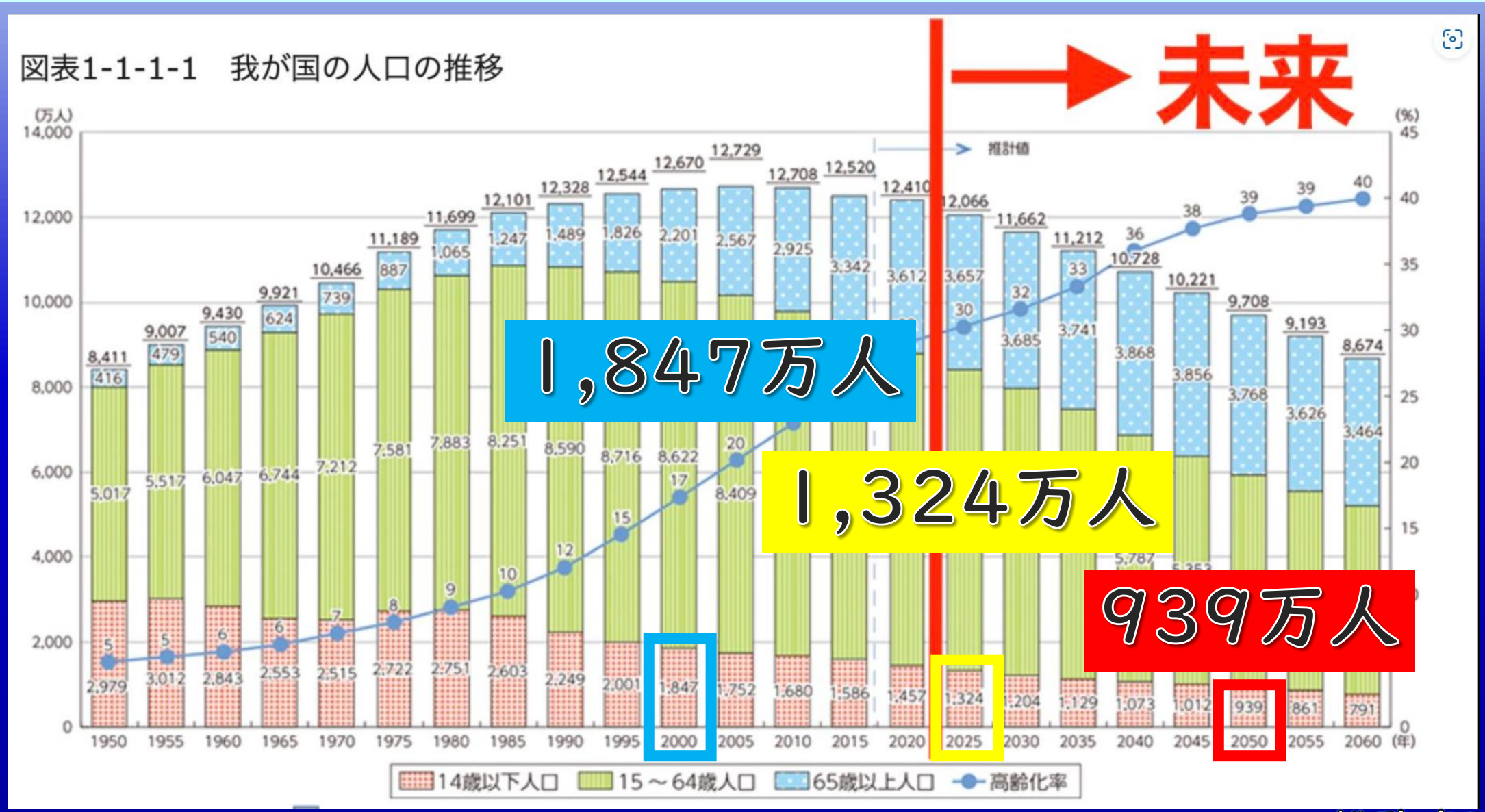
1. 国や県の動向

2. 地域展開のメリット

3. 今後の課題と方向性

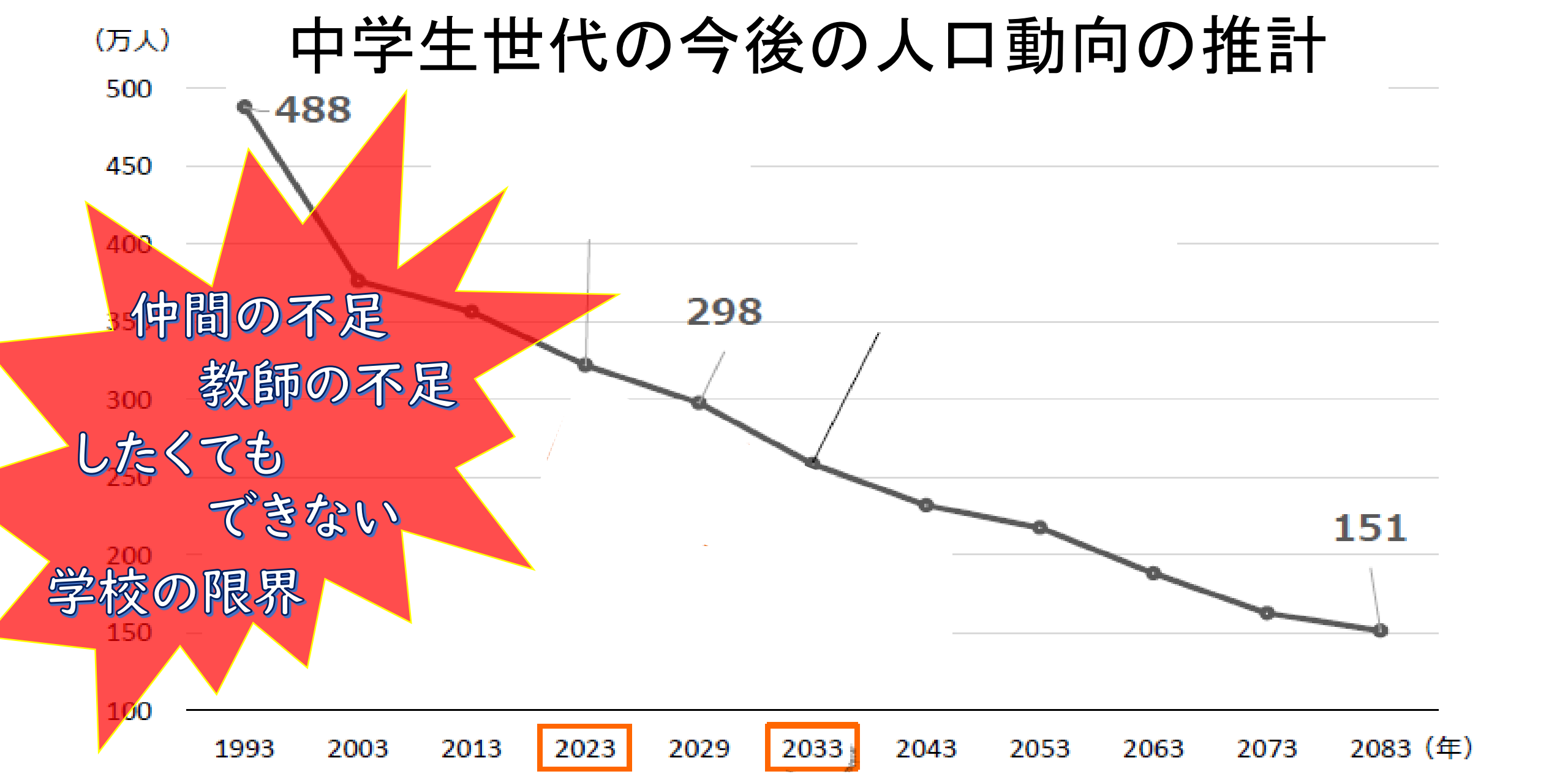


加速化する少子化



総務省HPより

中学生世代の今後の人口動向の推計



（出典）厚生労働省作成「人口動態統計」月報（2023年４月）」
国立社会保障・人口政策研究所作成「日本の将来推計人口（令和５年推計）詳細結果表　１．出生中位（死亡中位）推計」を基に算出。

スポーツ庁が示すスケジュール

改革推進期間			改革実行期
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

休日の部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする

- 事例試行 ⇒ 課題の洗い出し
  解決策の検討、改善
- 整備促進 ⇒ 成果の普及、検証

- ガイドラインの見直し
- 支援方策の検討

地域の実情に応じた持続可能なスポーツ環境

スポーツ庁が示すスケジュール

改革実行期間

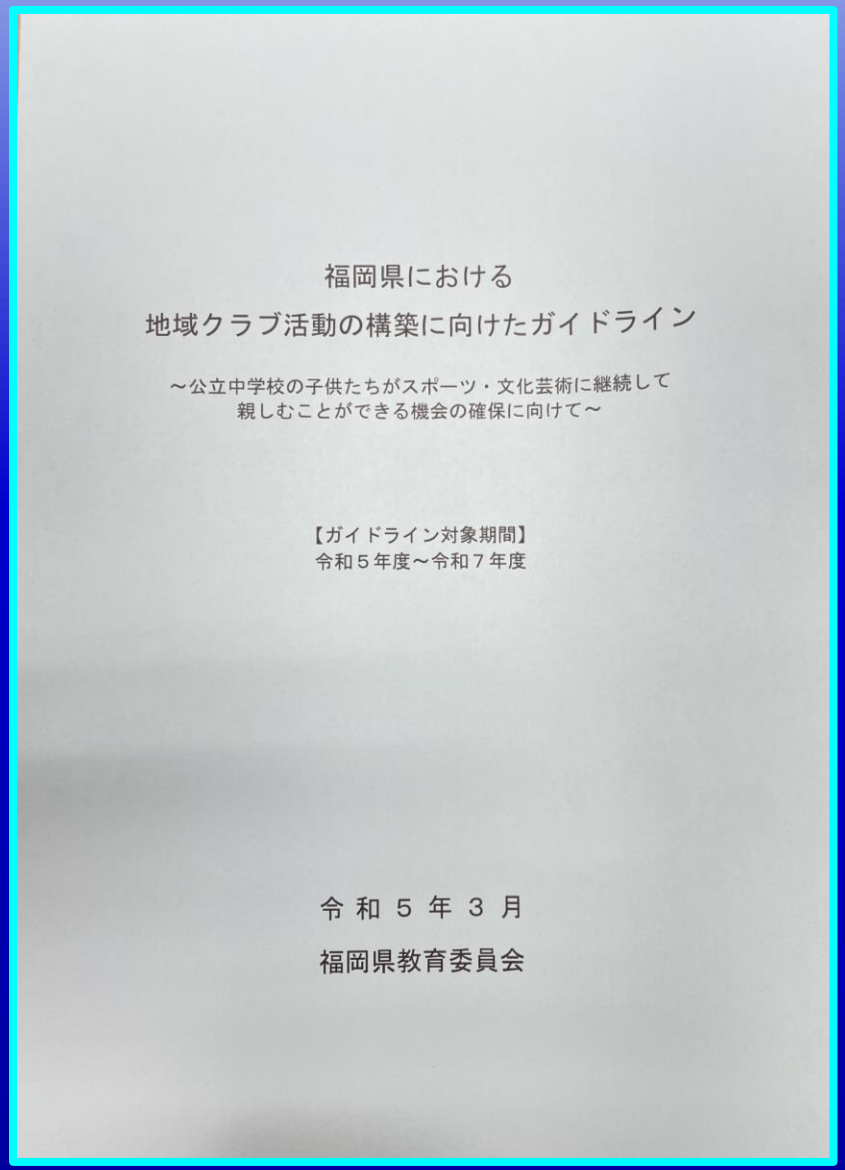
前期（令和8年度～10年度）

R8年度 → R9年度 → R10年度 → R11年度 → R12年度 → R13年度

後期（令和11年度～13年度）

- 休日については、次期改定期間内に、原則、すべての学校部活動において地域展開の実現を目指す。
- 平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進する。
- 受益者負担と公費負担とのバランスなど費用負担の在り方を検討する。

福岡県が示すガイドライン


福岡県における
地域クラブ活動の構築に向けたガイドライン

～公立中学校の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して
親しむことができる機会の確保に向けて～

【ガイドライン対象期間】
令和５年度～令和７年度

令 和 ５ 年 ３ 月

福岡県教育委員会

生徒にとって望ましい「地域クラブ活動」の構築
～地域の実情に応じた休日の部活動の地域移行を中心に～

適切な運営

- バランスの良い活動
- 生徒の健康・安全の確保
- 体罰やハラスメントの防止

×

指導の充実

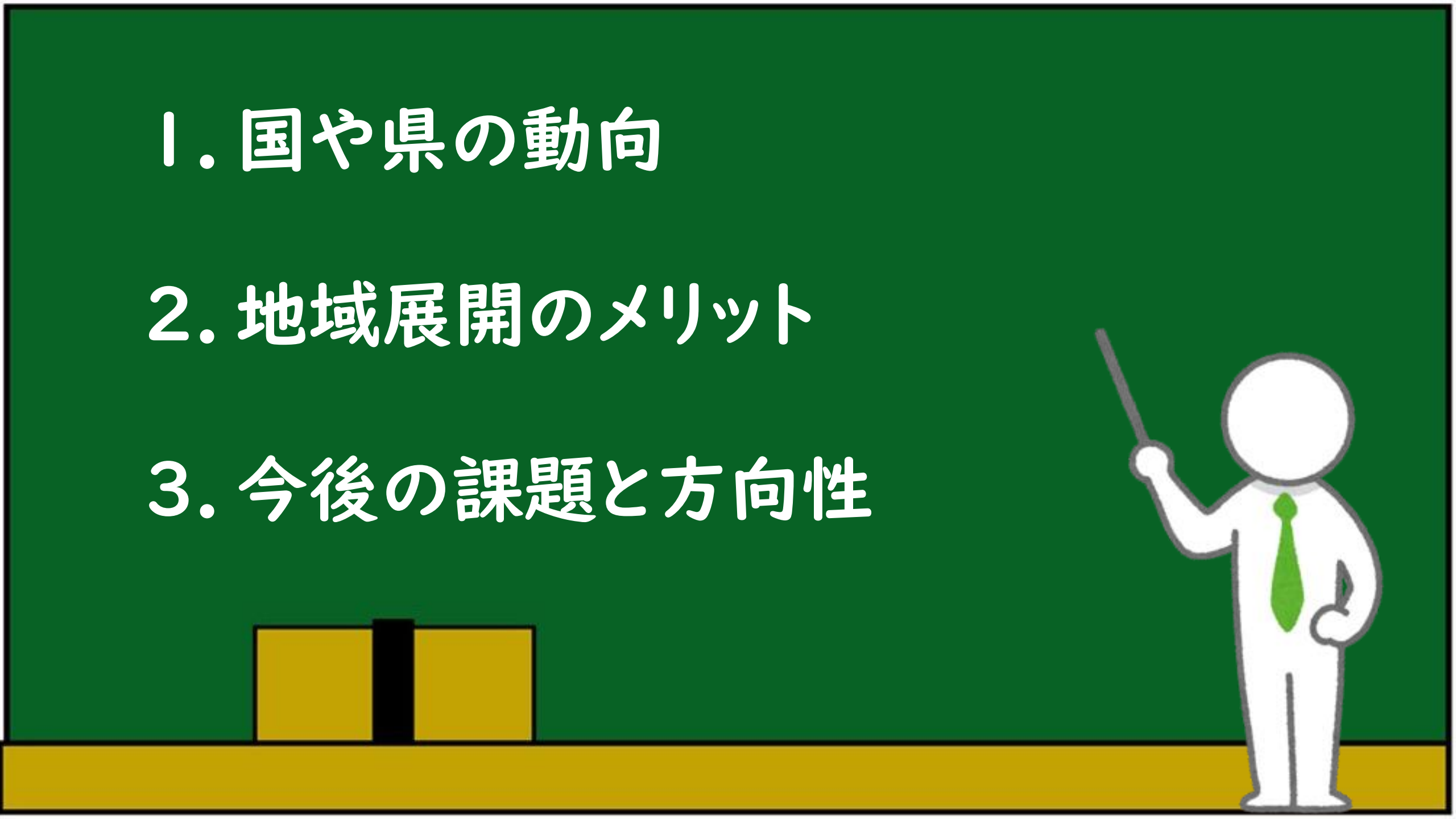
- 専門性を備えた指導者
- ふさわしい施設
- 発達段階やニーズに応じた活動

学校と地域が協働・連携した新たな活動

1. 国や県の動向

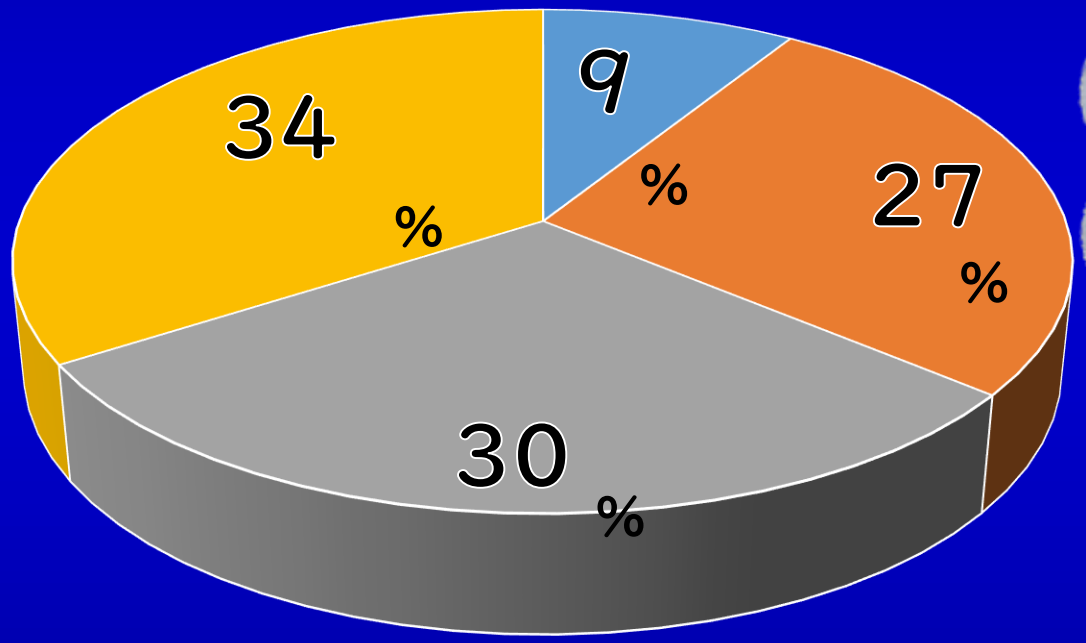
2. 地域展開のメリット

3. 今後の課題と方向性



子どものスポーツ環境を守るために…

部活動指導に対する自信
【教　員】



福岡県における地域クラブ活動の構築に向けたガイドライン，福岡県教育委員会，令和5年3月

✓学校にない種目をしたい。
✓様々な活動を楽しみたい。
✓専門的な指導を受けたい。
✓引退せずに続けたい。
✓学校をこえた仲間と関わりたい。

子どもを中心に据えたメリット

教 員

地 域

選択肢の増加
持続可能な活動、存続
専門的な指導
多様な価値観
引退なし

モチベーションUP
教員業務のスリム化
授業の質の向上

地域の教育力UP
コミュニティの活性化
持続可能性UP

生 徒

ニーズに応じた環境

１人の指導者

技術的指導

教育的指導

従来の部活動

複数の大人

専門的な
体力・技術

アスレティック的な
体力

基本的な身体機能
人間性・社会性

地域クラブ

スポーツ
協会・団体

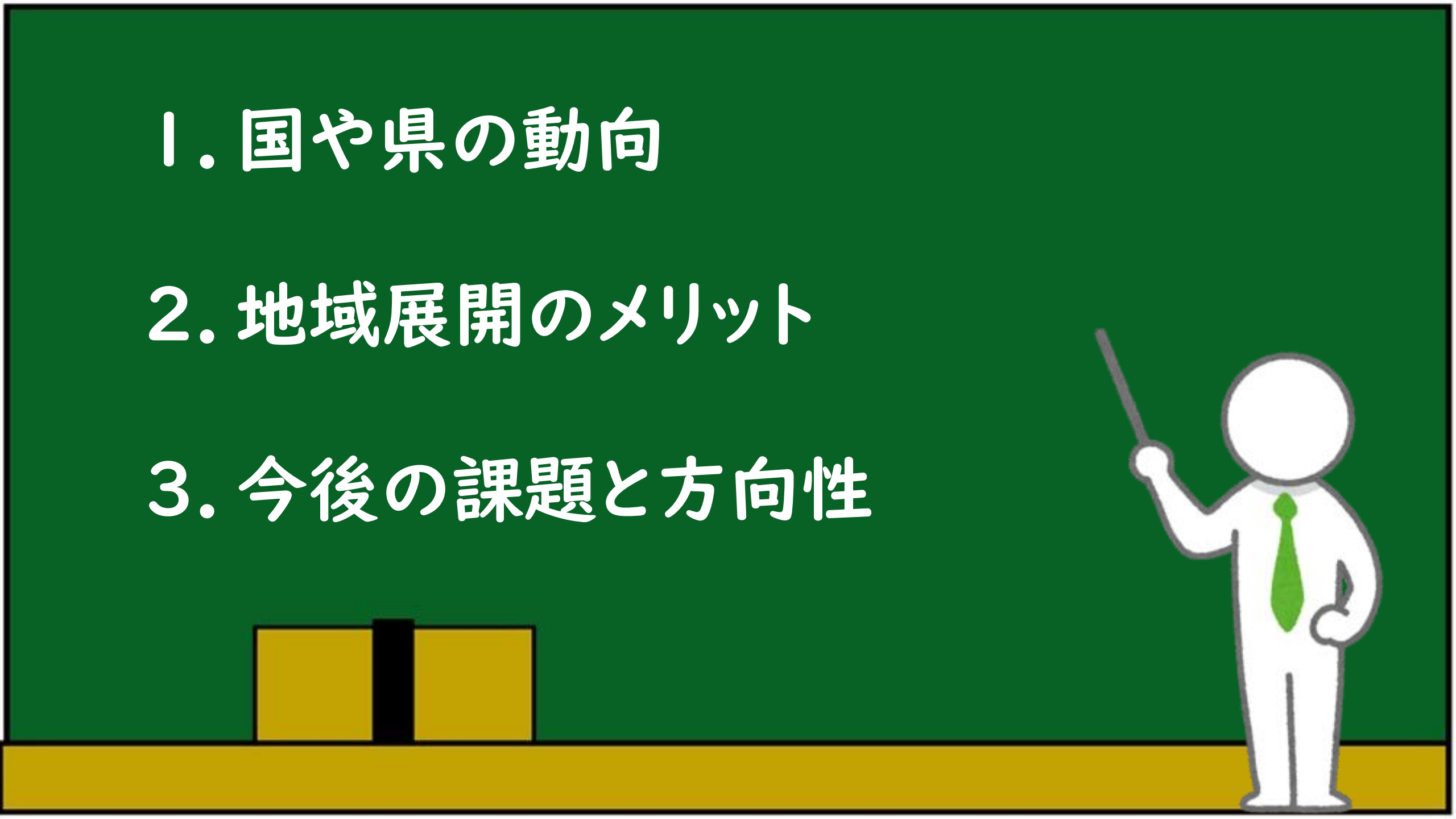
保護者
コーチ

地域やクラブ
指導者

1. 国や県の動向

2. 地域展開のメリット

3. 今後の課題と方向性



今後の課題と方向性

ひ と

- 指導者の確保
- 教員の兼職兼業
- 運営団体、実施主体
- 総括コーディネーターの配置

人財バンク
スポーツ推進委員
スポーツ協会

も の

- 活動場所の確保
- 用具の確保
- 規約等の整備
- 大会、発表会
- 移動手段

学校施設の優先利用
ナイター設備

か ね

- 保護者の負担（会費）
- 指導者への謝金
- 保険の整備
- 運営委託費
- 予算の確保、補助金

受益者負担
協賛金

おわりに

家　庭

学　校　　地　域

新たな価値を創造する

やりたいことに夢中になれる

子どもたちの未来を創る

地域の未来を創る